

## 平成24年度 各モデル園の取り組み

公開保育・授業実施園

### 八雲保育園（連携先：由良川小学校）

#### 八雲保育園・由良川小学校つながり活動

	活動内容	活動日	場所
1	あさがおのたねまき	平成24年6月1日	由良川小学校
2	学校探検	平成24年6月15日	由良川小学校
3	ザリガニつりに出発！	平成24年6月28日 平成24年7月10日	八雲保育園 丸田東地区
4	保育参観	平成24年8月10日	八雲保育園
5	さつまいもやさん	平成24年10月29日	由良川小学校
6	チューリップの球根植え	平成24年11月14日	八雲保育園
7	どんぶり拾い どんぶりカーを作ろう	平成24年10月23日 平成24年11月19日	湊十二社 由良川小学校

#### 木下先生のご指導を受けて

二年目の連携を共に楽しんだ年長児が卒園しようとしています。今年度の生活発表会では、つながり学習発表と題し、連携や保育の中で学んだことや体験したこと、発見や驚きの様子を発表しました。朝顔、ザリガニ、さつまいも、色々な場面の子も達の姿が沢山のつづやきと共に思い出されました。エピソードが残る活動は、対象とじっくりかかわってきた活動である事を感じながら、私はあの日の木下先生の言葉を思い出します。

「対象といかにかかわったかが大切」と講評して頂いた学校探検。あの日のこの言葉が今の私達の原点です。あの日の失敗はいい問題いい台本を作る事が、いい活動につながると思い違いし、ずばり対象とのかかわりが欠けていたのです。きっと先生は指導案を見た時から全部お見通しだったのでは、と思います。そして当日は私の心の内までも見通して下さっていたと感じています。

考えてみると木下先生はいつもそうです。短い言葉の中に私達へのメッセージを込めて、送って下さいます。それは「学び」であったり「夢中」であったり…私達はその言葉から何かをつかみ取ろうと、いつも

必死で考えていました。考えて考えてそして間違ってしまった学校探検です。でもそうして失敗した事により、少しずつわかり始めてきた気がします。

そしてそれは連携だけに留まった事ではありません。八雲保育園の保育も又、木下先生とお出会いしてから沢山の気づきを頂き、大きく変化してきました。鳴門教育大学附属幼稚園へ行かせて頂いた時には、木下先生、佐々木先生、近藤先生の会話が実に刺激的でした。その際「僕たちはあえて子どもに失敗させないから」という言葉がありました。そんな気持ちで子ども達の思いを引き出し、支えている様子に心を打たれました。その中で書き留めるエピソード記録、そこからの考察、「科学的思考」と題された資料に目を通すと、そこにあふれる子ども達の姿はもとより、その背景にある保育のやり方、環境の整え方に大変興味を持ちました。

その部分の疑問にも木下先生は丁寧に応えて下さいました。やり方については手探りではありましたが、

その中に確かに実感できる手応えもありました。子ども達の科学の心に目を向けると子ども達の動きに対する考え方も 今までは全く

違ってくる。ここでも又、連携でのあの言葉が重なります。「対象といかにかかわったか」普段の保育も、よい台本を作りそこにのせる事がよい活動を作るのでなく、子ども達が主体的に対象とかかわり、自分達で気付いたり、疑問を持ったり、何かを獲得したりが大切で、「科学の心に目を向ける」という事と「対象とかかわる子ども達の姿を大切にすること」という事が私の中でつながりました。そして、かかわる相手としての対象が環境の部分でもあると考えます。環境の中に必要な自然素材についても、木下先生からの助言があつてから園をあげて私達は勉強中です。

当園はまだまだ発展途上にあります。これからも保育の質を上げる為に勉強し努力し続けていきたいと思っています。

連携活動のご指導をはじめ、保育における子どもの見方、主体的に遊べる環境の整え方、その中での自然の取り入れ方、設定保育のやり方、記録のとり方、木下先生からは本当に沢山の事を学びました。2年間お世話になりありがとうございました。心より感謝申し上げます。

## タンポポハウス（連携先：志楽小学校）

活動内容〔 ①活動名 ②活動日 ③場所 〕	
1	①顔合わせ ②平成24年11月28日 ③タンポポハウス
2	①なかよしさんぽ ②平成24年12月3日 ③鈴鹿神社
3	①リース作り ②平成24年12月7日 ③志楽小学校

### ふれ合って作った朝顔リース

初めての連携は、『一緒にリース作りをしよう』という目標に向かって3回の活動を計画しました。

1回目はタンポポハウスで顔合わせをしてペアになり自己紹介をした後、互いに親しくなるようにゲームやふれ合い遊びをしました。自己紹介の時は恥ずかしくてあまり会話も出来なかった皆も、ふれ合い遊びを通して親近感が湧き笑顔もたくさん見られるようになりました。

2回目は鈴鹿神社まで仲良し散歩に出かけました。仲良しペアで話をしたりしながら楽しく行きました。神社では、1年生が作った神社で見つけられそうな葉っぱや木の実を書いたビンゴカード使って、いろんな葉っぱや木の実さがしをしました。これらは、次回作るリースの飾りに利用します。ここは、5歳児もよく来る場所です。ついついはしゃいで勝手な行動をしそうになる5歳児を、1年生は一生懸命フォローしてくれていました。

3回目はリース作りです。5歳児は学校が近づいてくると少し緊張した様子を見せていましたが、体育館に入り1年生の姿を見ると安心したのか、すぐに『仲良しペア』と一緒にふれ合い遊びを楽しみ、校内探検でも1年生はうれしくて走り回る5歳児に必死について回りながら、いろんな所を見てもらおうと一生懸命に案内してくれました。そして1年生の教室でリース作りをしました。始めは良く分からなかった5歳児も、1年生に教えて貰いながら自分たちでリースを作りあげていきました。

5歳児も連携活動を通して学校が身近な所に感じられるように成ったと思いますし、やさしく関わって貰うことで内面的にも成長したと思います。また、子ども同士で活動を展開していく力を十分に持っている事を改めて感じました。今後に向けては、職員同士の交流(話し合い)が大切で、活動をする時期を考えるのも大事な事だと思いました。

## 岡田保育園（連携先：岡田小学校）

### ～えがお・いきいき 岡田の子～ 活動内容

	活動内容	活動日	場所
1	茶摘み ～仲良く和・茶・チャ～	平成24年6月6日	岡田小学校・茶畑
2	どろんこ遊び ～ダイナミック泥あそび～	平成24年7月10日	岡田保育園
3	川遊び ～たんけん！久田美川～	平成24年9月7日	岡田小学校、学校前久田美川流域
4	運動会 ～だんけつダー！～	平成24年9月16日	岡田小学校
5	小豆の収穫 ～あずきにありがとう～	平成24年10月30日	岡田小学校
6	学校マラソン大会～走る・はしる・岡田っ子～	平成24年11月1日	岡田小学校、農道マラソンコース
7	秋見つけ ～ステキな秋みつけた～	平成24年11月12日	岡田小学校、久田美地域周辺
8	秋の冠づくり ～へんし～ん！秋おしゃれ～	平成24年11月27日	岡田小学校
9	動物愛護教室 ～どくどく心音を感じよう～	平成24年11月30日	岡田小学校
10	わくわく秋ランド ～楽しい秋まつり～	平成24年12月7日	岡田小学校
11	みそ料理交流～みそパワーを知ろう・味わおう～	平成24年12月17日	岡田保育園
12	一日体験入学 ～小学校であそぼう～	平成25年2月1日	岡田小学校
13	昔の遊び・給食交流 ～1年生と仲良しだ～	平成25年3月7日	岡田小学校
14	学校体験 ～どうぞよろしくお願ひします～	平成25年3月12日	岡田小学校

### 保小連携事業を取り組んで

#### 子どもの学び

- ◎小学校に対して、慣れ親しみ(環境・人)が持てた。
- ◎以前より、行ってきた連携活動がほとんどなので定着化している。
- ◎1年生との関わりから、物への関わり方、遊び方、話し方等、随所で模倣したり、学びがある姿が見られた。  
(例：1年生が〇〇して、草の実を使うと面白いよ、と教えてくれ、それを真似して遊ぶ。材料を分けるとき、このくらい？と目分量で分けていた幼児に対して、数えるという行為を1年が示した。等)
- ◎全学年と仲良しな関係ではあるが、取り組み毎にペアを決めたこと(固定)で、活動を重ねるごとに、相手を意識し、兄弟姉妹のような自然な子どもらしい姿が多く見られた。

#### 保育士の学び

- ◎1年生の生活科との活動を主軸におき、加えて全学年・学校全体と交流連携活動が取り組めたことは、児童・生徒の成長変化が良く判り、有意義であった。
- ◎配慮を必要とする子、気になる子に対しての学校側の受け止め方が共有できたので良かった。
- ◎移動や担当者が変わった事で、4月当初や前半は、教職員との話し合い・調整に戸惑った。互いに様子を見る的な所があったが、後半はスムーズに行えた。
- ◎研修で、打ち合わせより、活動後の話し合いが大切と聞いたが、簡単な感想を言い合う程度で、じっくり話し合えなかった。

#### 今後に向けて

- ◎担当者は誰であろうと、園児・児童の実態に合わせた、当初計画を明確にする。(相互理解)
- ◎活動後の話し合い、反省を十分に行い、その内容を、次への取り組みに生かしていく。
- ◎保育課程・保育内容・年間指導計画に、接続・連携を位置付けてはいるが、より具体的に連動、充実させていく。本園の特色へと繋げていく。(地域・関係機関との連携接続)
- ◎養護と教育が遊びと生活にあるという保育の本質的な所を更に小学校へ伝えていく。(相互理解)

中保育所（連携先：中舞鶴小学校）

活動内容〔①活動名 ②活動日 ③場所〕	
1	①前庭であそぼう ②平成24年5月22日 ③中保育所前庭
2	①保幼小つながり活動(うみのいきもの) ②平成24年11月7日 ③京都大学水産試験所
3	①木の実であそぼう ②平成24年11月20日 ③中舞鶴小学校
4	①授業体験 ②平成25年3月12日 ③中舞鶴小学校

子どもの学び

小学校の教室で、木の実を使って製作したり、実際の形態で授業を体験したことは、就学への不安を和らげ、期待につなげる点においても効果があった。また交流する中で、かかわり方を共に学びコミュニケーションの幅を広げることができた。

保育士の学び

授業を体験させてもらい、ステージがかわると緊張する姿もみられる中、自分の思いを表現できる子もいた。状況判断しながら、自分の思いを表現できるように保育所では、多様な場面に身を置き、たくさんの体験をしておく事が大切だと思った。

今後に向けて

まずは無理なく、楽しめることから継続していけるようにと積み重ねてきているので、今後も話し合いをし、連携について理解しあえるようにしたい。中舞鶴ならではの、特徴を生かして、海の生き物をつながりにして、活動を深めていきたい。あわせて、どう主体的に活動できるようにするかなど保育の質向上につとめていきたい。

東保育所（連携先：新舞鶴小学校）

活動内容〔①活動名 ②活動日 ③場所〕	
1	①どろんこあそび ②平成24年6月25日、7月4日 ③東保育所
2	①秋みつけに行こう ②平成24年11月8日 ③四面山
3	①秋ランド ②平成24年12月4日 ③新舞鶴小学校

子どもの学び

- ◎小学生が前に出て堂々と発表する姿を見たり、一緒にあそび自分たちに出来ない事が出来る姿を目の当たりにして、1年生ってすごいなとあこがれの気持ちをもった。
- ◎小学校へ行かせていただくことで、広いな、大きいなと感じたり、廊下は歩くんだ、話を聞くときは三角座りで、前をみるんだ。など言い合い、小学校を具体的にイメージできた。

保育士の学び

- ◎保育所と小学校の子どもに関する考え方の違いを感じたので、これからの連携を通してその差が縮まっていければと思う。

今後に向けて

- ◎お互いのペアを意識できるお散歩などからスタートさせるのが自然で良い。
- ◎イベント型はお客様になってしまう所があるので、難しく考えずシンプルな活動を一緒に取り組むほうが気づきが多い。
- ◎1回毎に反省会を持ち、振り返りをして次につなげていく。
- ◎お互いの負担にならないような内容で、回数を増やしていきたい。

昭光保育園（連携先：新舞鶴小学校）

活動内容 [ ①活動名 ②活動日 ③場所 ]	
1	①シャボン玉 ②平成24年6月26日 ③新舞鶴小学校
2	①秋みつけ ②平成24年11月6日 ③夕汐台公園
3	①秋ランド ②平成24年12月12日 ③新舞鶴小学校

いずれの行事においても、園ではお兄さんお姉さんのみんなが、小学生のお兄さんお姉さんに遊んでもらえたことがよい刺激になり、その後の成長に繋がっている。

やまもも保育園（連携先：新舞鶴小学校）

活動内容 [ ①活動名 ②活動日 ③場所 ]	
1	①泥んこあそび ②平成24年6月26日 ③やまもも保育園
2	①秋をみつけよう ②平成24年11月6日 ③嶋満神社
3	①あきランド ②平成24年12月4日 ③新舞鶴小学校

子どもの学び

◎園では一番大きいですが、小学生との交流では一つ小さいので、憧れを持てたり、大きい子との関わり方を知るきっかけとなったと思います。

◎たくさんのお兄さん、お姉さんがする事や仕事など、まずは見てまねる楽しさを感じたように思います。

保育士の学び

一つしか違わない小学生との交流を通して、その先の年長児の姿が見通せるきっかけになり、良かったと思います。

今後に向けて

◎交流する学校に入学しなくても、どんな教室があるのか、学校内を見学できたらいいと思います。

◎学校側が負担にならないように、準備物も少なくできる企画を考えてはどうでしょうか(散歩、体育など)。

東山保育園（連携先：余内小学校）

活動内容 [ ①活動名 ②活動日 ③場所 ]	
1	① <u>みんなでたのしもう冬のフェスティバル</u> ② 平成24年12月4日 ③ 余内小学校体育館

子どもの学び

小学校の広さを改めて体感し、交流会や1年生の学習発表を見聞きし、自分たちも1年生になったらこんな事が出来るようになるんだということを学べた。

保育士の学び

保小連携の活動は子どもたちの絆が深まるだけでなく、お互いの学びや成長を共有することができると感じた。

今後に向けて

連携を2、3回と会を重ねて1年を通してお互いが、深い関わりをもって個々の力を引き出し充実した内容となるように連携を大切に進めたい。

平保育園（連携先：大浦小学校）

活動内容 [ ①活動名 ②活動日 ③場所 ]	
1	① <u>4年生と制作を楽しもう(とびだすおもちゃ作り)</u> ② 平成24年11月1日(木) ③ 平保育園
2	① <u>保育園での遊びを一緒に楽しもう</u> (ドンジャンケン、猛獣狩り、友だちできたら) ② 平成24年11月29日(木) ③ 平保育園
3	① <u>4年生の考えてくれた遊びを楽しもう</u> (はないちもんめ、ハンカチ落とし、交流おやつ) ② 平成24年12月11日(火) ③ 平保育園
4	① <u>6年生を送る会参加(歌、ダンス)</u> ② 平成25年2月24日(日) ③ 大浦小学校

学んだこと、今後に向けて

全体的に交流の機会はとても良かったと思う。  
わずか3回だったがすぐに仲良くなり、次回交流出来る日を楽しみにしていた。  
小学生と触れ合える機会がなかなかないので、もう少し交流回数を増やしても良いのではないかと考えた。